

報道配布資料

平成25年(2013年)8月9日

所属名	所属長名	部局長名	担当者名	連絡先
山口県立大学	学長 えさとけんすけ 江里 健輔	附属地域共生センター所長 かとだ けいこ 加登田 恵子	同 左	083-928-5622
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

1 件名

文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」（大学COC事業）の採択について

2 概要

本年度、文部科学省が創設した「地（知）の拠点整備事業」（Center Of Community事業）は、一連の大学教育改革の一貫として、大学の地域コミュニティの中核的存在としての機能強化を図ることを目的とする事業です。

山口県立大学では、これまでも健康・福祉・まちづくりなどの分野で地域貢献活動を行ってききましたが、さらに、山口県や県民の皆様のためのシンクタンク機能及び人財づくり機能の強化に向けた事業を展開するため同事業に応募しました。

この度、文部科学省は、全国319件の応募の中から52件を採択し公表、本学の事業につきまして採択が決定しました。今後、山口県をはじめ関係機関等とも連携しながら事業を実施し、より存在感ある「地域貢献型大学」を目指して取り組んでいくこととしています。

(参考)

1 事業への応募・採択状況

- ・全国 応募 319件 採択 52件（短大・高専含む）
 - ・大学 応募 289件 採択 51件
(国立22、公立14、私立15)
 - ・山口県内 県内での採択は本学のみ
- ※ 文部科学省HPより

2 本学の事業概要

- (1) 事業名称 「知の融合」と「異世代交流」による地域活力の創生
- (2) 事業期間 平成25年度～29年度
- (3) 連携自治体 山口県
- (4) 事業内容

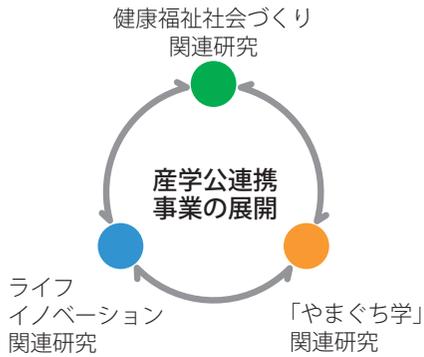
産学公の連携を強め、県政課題に積極的に対応するため研究部門を組織するなど、学際的な知の融合を図る「共生研究システム」と、異世代交流をキーワードに、「桜の森アカデミー（仮称）」創設による学生と県民の交流学習を進めるなどの「共生教育システム」を構築、展開することで、山口県の地（知）の拠点として地域活力を創生する。

※ 裏面・概要イメージ図参照

共生研究

地域課題についての
実践的研究

「知の融合」研究システム



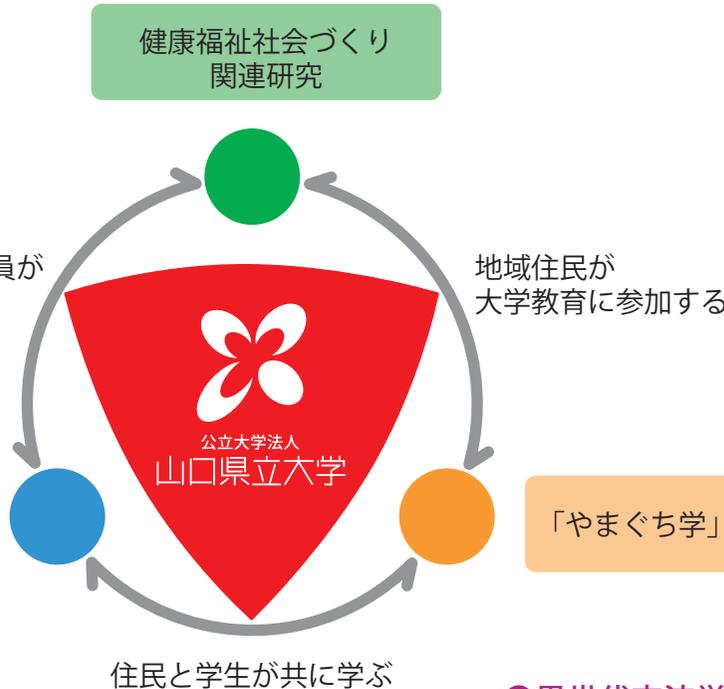
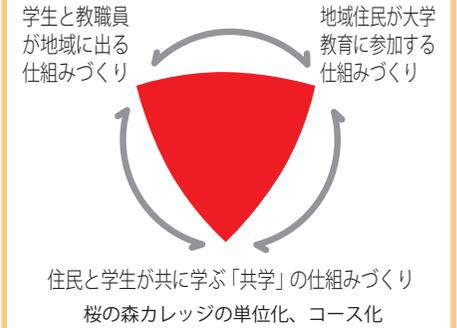
「知の融合」と「異世代交流」による地域活力の創生

山口県立大学は、**共生研究システム**と**共生教育システム**の展開により、
地(知)の拠点として地域活力を創生するエンジンになります。

共生教育

地域の教育力を生かす
大学教育

「異世代交流」教育システム



●県政・県民のシンクタンクとしての機能強化

①少子高齢社会における3つの地域課題への挑戦

健康福祉社会づくり研究・・・健康づくり
ライフイノベーション研究・・・新産業創出
「やまぐち学」研究・・・山口の魅力発見とまちづくり

②知の融合によるダイナミックで実践的な研究

学部・学科を超えた学際的な研究チーム (Multidisciplinary)
産学公連携による協働研究体制づくり (Cross-Border Cooperation)

③研究成果を積極的に地域社会へ発信・還元

効果：地域の未来を切り拓く実践的知力の錬磨

●異世代交流学習拠点「桜の森アカデミー」の創設

①住民と学生が共に学ぶ共学システム

アクティブ・ラーニング方式

②履修証明制度による系統的な公開講座

「やまぐち学マスター」の認定 「健康づくりマスター」の認定

③実践的な学習効果の発揮

地域観光ボランティアとして活躍 地域活動のリーダーとして活躍

効果：豊かな社会性と地域マインドの醸成

